

# 専大スポーツ

チームメイトの声援を受けて好走するサミュエル 撮影＝藤林利英(文3)



## 好走 8位 伊勢路まで 僅か0.65秒

全日本大学駅伝対校選手権大会関東学生陸上競技連盟推薦校選考会 5月4日、神奈川県・レモンガスタジアム平塚

選考会は8人が1万メートルを走り、合計タイムの上位7校が本選への出場権を獲得できる。専大は2009年以来となる伊勢路を目指したが結果は惜しくも8位。7位の山学大と僅か0秒65の差だった。それでも昨年の16位から大きくジャンプアップし、17年ぶりの1桁順位になるなど今後につながる結果となった。

専大生として初の公式戦に挑んだガユ・サミュエル(商1・札幌山の手高)が、チームトップの28分27秒88で自己記録を更新。上

(小畑祐人・文3)

# 1部に返り咲く

## 個人賞に4人 新居主将が優秀選手賞



最終節直前、勝利を誓うメンバー 撮影＝臼井千晴(文3)



サーブ賞を受賞したマサジェディのジャンプサーブ 撮影＝臼井

選手賞とスパイク賞、稲垣陽斗(経営3・海星高)がブロンズ賞、マサジェディ翔(文2・福岡大学附属大濠高)がサーブ賞、松元空星(経営1・日南振徳高)が新人賞を受賞した。新居は「第9、10節を同じような展開で落とし、最終節は気持ちが入っていた。最終節で快勝できたこと、自分たちの自信につながる」と語る。1部復帰について「今年は2部からのスタートで、しんどい思いをした。後輩たちにそんな思いをさせないように、秋季リーグ戦でも4年次生が中心となって結果を残したい」と決意を新たにしている(武田慧一・法2、平野百々花・人間科学3)

# 最短で1部復帰

関東学生アーチェリーリーグ戦(男子1・2部入れ替え戦) 5月2日、江東区・夢の島公園アーチェリー場

昨年2部に降格した男子が、最短で1部復帰を決めた。専大は直近3年間、1部と2部の昇降格を繰り返している。まずは1部定着を狙う。(佐藤佑樹・経済3) 写真も



入れ替え戦を終え、1部復帰に沸く部員たち

主将でエースの甲斐光流(経営4・千葉黎明高)が「雰囲気すごく良い」と語るチーム状況のなか、第一記録会を1位で折り返す。続く第二記録会でも甲斐が全体2位の成績を収めるなど順調に得点を重ね、総合1位で1・2部入れ替え戦に駒を進めた。この大一番で、2位以下を60点以上突き放す3486点を獲得した。専大は直近3年間、1部と2部の昇降格を繰り返している。まずは1部定着を狙う。(佐藤佑樹・経済3) 写真も

矢野、藤雄が全日本学生へ 関東学生剣道選手権大会 5月6日、千代田区・日本武道館ほか

本学生剣道選手権大会(7月4、5日、日本武道館)の出場権を獲得した。今大会は、試合時間4分の3本勝負で、トーナメント方式の個人戦。矢野は5回戦(ベスト32)、藤雄は4回戦(ベスト64)に進出し、全日本学生の切符を手にした。(齋藤結菜・文2) 写真も



5回戦に進出した矢野

道白⑦の得点を喜ぶイレブン 撮影＝佐藤



# 11年ぶりの決勝進出

全日本サッカー選手権大会神奈川県代表決定戦・準決勝 5月10日、横浜市・ニッパツ三ツ沢球技場

前半4分に山下基成(文4・大津高)が先制点を奪うと、同44分に道白優斗(文3・流通経済大学付属柏高)がドリブルで切り込んでシュートを決め、2点リードで折り返した。後半も出足の鋭いプレッシングで主導権を握り、相手に決定機を



ドリブル突破を試みる道白 撮影＝藤林

## 8/1 SSC相模原と大一番

ほとんと作らせなかった。神奈川県の出場校決定戦から勝ち上がった専大は、格上の相手と連破して決勝までたどり着いた。主将の志村ぼん(経営4・葦崎高)は「スタンドからの応援も含めて全員で戦った結果だと思ってる。決勝も厳しい戦いになると思うが、勝利できるような頑張りしたい」と意気込んだ。

運命の一番となる決勝戦は8月1日(土)、ニッパツ三ツ沢球技場で18時キックオフ。1999年以来となる天皇杯出場をかけた、J3所属のSSC相模原と対戦する。あと1勝に挑む、専大イレブンに多くの声援をお願いしたい。(佐藤)